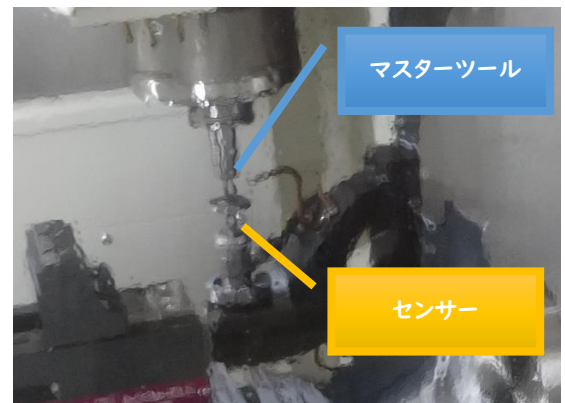
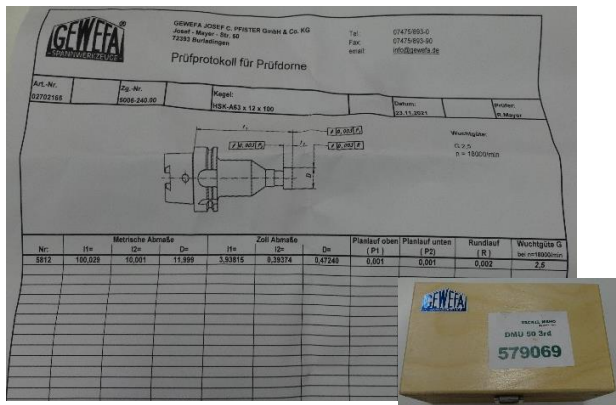
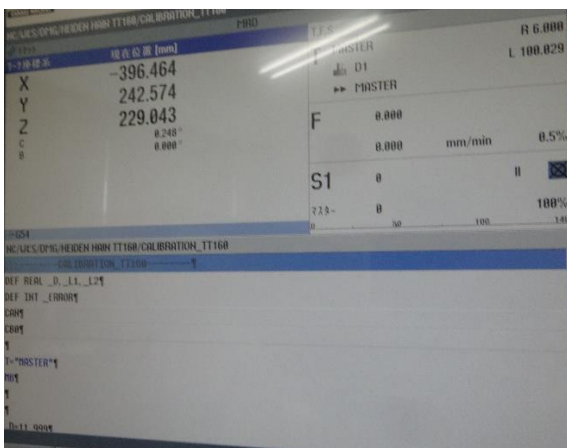


今日は新しい知識として、マスターツールを使ったキャリブレーション作業を実施しました。



マスターが入っていた木箱内に測定値が書かれた書類が入っています。 アクリル板越しで分かりにくいですが、測定しています。

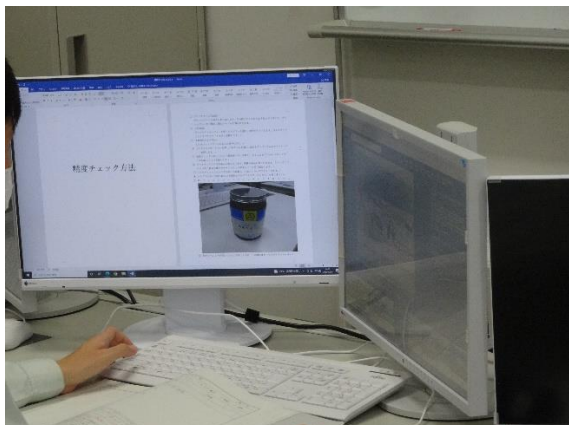
1 学期には、ブロックゲージと高精度の球体を使ったテーブルのキャリブレーションを行いました。今回は基準となる物体の精度を測定し、その数値を機械に記録する作業です。エアコンで温度を一定にし、マスターという高精度で作成された金属製のツールをセンサーに当てることで1/1000mm単位で測定をし、予め測定してある数値との差を補正します。一連の作業はプログラムで行いますが、万が一のことを考えて動くスピードをオーバーライドで1/10~1/100に落として行いました。



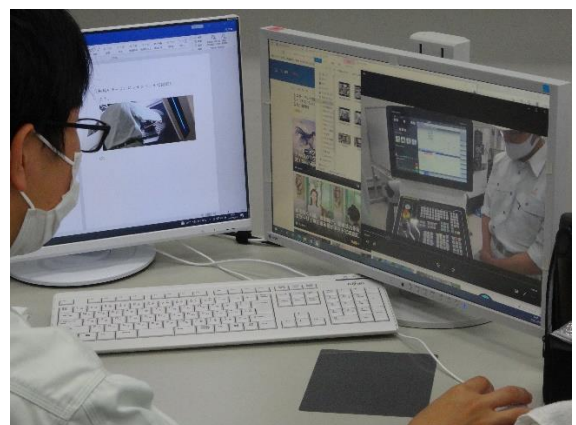
複雑な動作なので、予めプログラムしてあります。

円内のダイヤルでスピードを落として「安全運転」です。

今まで学んだ機械操作をマニュアル化するのも、今年の課題研究のテーマに入っています。説明時に、写真や動画を撮影しているので、それらを確認しながらワープロで作成しています。完成したら、お互いにマニュアルを見ながら作業してみて、内容が正しいか、抜けがないかを確認する計画です。



写真を入れて、誰でも理解できるようにしています。



説明時の動画を見返して、内容に抜けがないかを確認します。